

**1. 高齢者が暮らしやすい平野区をめざして**  
誰もが重ねます。こんな心配や悩みはありませんか？

- 自分や家族の健康
- 家族の介護
- 買い物などで困った
- 孤立しないか

健づくりや介護予防の取組に参加したり、介護の悩みを相談してみませんか？

隣近所同士のつながりづくりのために、あいさつや声かけをしてみませんか？

身近に相談できる場所を知っていますか？

まだまだ、元気で活躍できるぞ！自分の経験を活かして、社会に何か貢献したい！何か、ちょっとしたボランティアに参加したいなあ♪こどもたち（平野区の未来）のために、何かやりたいなあ♪

その温かい気持ちと力を、地域社会へ活かしてみませんか？

高齢者の身近な相談窓口「地域包括支援センター」と総合相談窓口「ブランチ」は

平野区 高齢者 相談 検索 <http://bit.ly/2xzwru>

**2. 認知症になっても安心して暮らし続けることができる平野区をめざして**  
高齢化がさらにすすむなか、認知症の人は増加すると考えられます。あなたが、家族が、認知症になったら…誰にも発症のリスクはあります。

- 認知症の予防が重要
- 進行を遅らせたい
- 周囲の見守りが大切
- 早期の発見が大切

お互いの見守りや、徘徊発生時に発見の協力者がいると安心しませんか？

認知症を理解し、予防したいですよね！

あれっ？と思ったら 「ひらのオレンジチーム」（認知症初期集中支援チーム）認知症の人とその家族への初期支援など 06-6769-0015

みんなが認知症サポーターになって、見守り、支えあえるまちって、ステキですよね！※キャラバン・メイト連絡会が認知症サポーター養成講座を行っています。

わしらがこどもたちのために役に立てることがあるやううか？

介護や認知症が心配やねん

「障がい」ってなんやろう？みんなにも「障がい」のこと知ってもらいたいなあ～

認知症になってしまっても住んでる地域で安心して暮らし続けたいねん

障がいがあってもどんどん社会参加していきま～す♪

大切なこどもの将来のために何をしたらいいのかなあ♥

近所に顔見知りがい～っぱいいたらええなあ

子育ての相談ってどこでやってるん？

地域で何かボランティアしたいなあ♪

平野区障がい者相談支援センター  
障がいがある人や、その家族などの地域における生活を支援  
06-6797-6691

**3. 障がいのある人も支えあえる平野区をめざして**  
「障がい」とは何かを少し考えてみませんか？

- 障がいがあることに気づいてもらえない
- おまつりなどのイベントに参加してみたい

障がいの状態もお困りごとも人それぞれ

誰もが安心して暮らし続けるためにも、困っている人がいれば、その人の気持ちに寄りそい、みんなで支えあえるまちにしませんか？

障がいがあっても、何かに挑戦したい、私もできるようになりたい、と前向きに努力している人もいます。

勇気と力をもらっていませんか？

**4. こども・子育て世帯をみんなで支えあえる平野区をめざして**  
みんなの宝物「こどもたち」の将来を、みんなで支えていませんか？

- 子育ての悩み
- 児童虐待
- 子どもの貧困
- 子どもの居場所の少なさ
- 生きる力を育む

こどもたちが将来に向けて自立できる力を育めるように、みんなで考えていませんか？

もし虐待を発見したら、気になるこどもがいたら…身近なところに相談を！

大切なこどもの笑顔、将来のために、子育てに悩まず、相談を！まずは06-6762-0088「児童虐待防止協会」（子どもの虐待ホットライン）、または06-4302-9936「平野区役所」（子育て支援室）まで。

児童虐待ホットライン  
0120-01-7285  
※匿名でもかまいません。  
ご連絡いただいた方のプライバシーは守られます。

地域で子育てをがんばっている人たちに、手を差しのべてみましょう！

**5. 平野区の地域におけるセーフティネットの構築**

**自助**  
生活中で困ることがないように自分（家族）でできること※健康づくりや近所づきあいなど

**つながり、支えあう平野区みんなの力**

**公助**  
福祉制度サービスによる専門的な支援※医療・介護サービスやその他福祉的な公的支援など

**共助（互助）**  
住民同士がともに（互いに）協力し支えあうことなど、そのための環境づくりを行うこと※まつりやふれあい喫茶など

**新たな民助**  
企業の地域貢献や非営利活動による住民のサポート※就労訓練の協力や、送迎サービスなど

まずは、「わたし」「家族」でできることを考え、はじめてみませんか？

- ◆ みんなの将来のために、一人ひとりが自分のこととして考えることが、最初の大切な一歩です。例えば、こんなことはどうですか？

★規則正しい生活やバランスの取れた食事、運動習慣を持つなどにより、健康維持、生活習慣病の予防に努めましょう。

★日頃から、どんな相談窓口があるのか調べておきましょう。そして、困ったとき、個人や家庭で抱え込みます、気軽に相談しましょう。

★困ったときに、お互いが助けあえる関係づくりのため、日頃からのあいさつを心掛けましょう。

★悩みを抱えます「手伝って」と言える人を増やしましょう。

★困っていることがあったり、困っている人がいれば、周りに相談する勇気を出しましょう。

★近所の行事への参加を考えてみましょう。

そして、「みんな」でできることを考えてみたり、手伝ってみたりしませんか？

- ◆ みんなの将来のために、一人ひとりの力を少しずつ出しあうと、大きな力と希望になります。例えば、こんなことはどうですか？

★隣近所の暮らしを気にかけ、ごみ出しなど「ちょっとしたお手伝い」を頼める関係を隣近所でつくりましょう。

★「ふれあい喫茶」や「いきいき百歳体操」など、地域の福祉活動にご近所同士で声をかけあいながら参加し、孤立しないようにしましょう。

★支えあいの想いを広げるため、地域のみんなで「認知症サポーター」になります。

★地域の福祉課題について、小・中学生や関係機関といっしょに、地域一体となって話しあいましょう。

★世代を超えて顔見知りになり、こどもの成長・安全を支える“見守りの輪”を広げましょう。

★災害時に備えて自身の避難場所や近所に孤立するおそれのある人がいないか把握しましょう。

平野区の将来に向けて、みんなの「心と力」をあわせましょう！

助けを必要とする人が増えていく将来は…

- つながりの希薄化
- 孤立への不安
- 健康への不安
- 生活や将来の不安
- 災害への備え
- 担い手の不安
- みんなで力を合わせながら…

すでに活躍されている担い手

つなぐしくみ

新しく芽吹く担い手  
※共助（互助）・民助など

企業や団体のみなさん、「キッズひらちゃん子育て応援団」としてご協力いただいています！

平野区（行政）

平野区社会福祉協議会（民間）

子育てフェスタなどの「いのちの大切さ」講座

エコや災害時をテーマにしたクリッキングセミナー

「キッズひらちゃん子育て応援団」